



## 蘭越ひばり幼稚園 うんどうかい

9月18日、第46回蘭越ひばり幼稚園運動会が、蘭越小学校で開催されました。この日のために練習をしていた園児たちは、元氣いっぱい競技を行い、途中、雨により体育館へと移動となりましたが、楽しい運動会となりました。



## 北海道社会貢献受賞 環境衛生の向上に尽力

有限会社 笠井商事

9月20日、役場応接室において、北海道社会貢献伝達式が行われ、有限会社笠井商事（笠井敏文代表取締役）が受賞しました。有限会社笠井商事は、昭和51年から現在までの多年にわたり、じん芥収集業務及び廃棄物の適正処理に努めています。また、近年の廃棄物処理における各種規制強化のもと迅速な対応提言により、分別収集の円滑な実施と廃棄物最終処分量の減量化に努めている功績が認められ、今回の受賞となりました。



内閣総理大臣からの祝状と記念品が贈られました  
細口 タミさん（字大谷）  
9月19日、満百歳を迎えられた細口タミさん（字大谷）に内閣総理大臣からの祝状と記念品（銀杯）が贈られ、宮谷内町長から伝達されました。  
これは、百歳を迎えられた方々の長寿を祝い、ひろく高齢者福祉についての関心と理解を深めることを目的に、老人の日記念行事として行われ、今年度は全国で、24,952人の方が受賞されています。

# 第1回 まちづくりトークを開催



今年度の新たな事業として、住民参加を推進し、住民の皆さんとの対話を通じて、意見や要望を町政に幅広く取り入れる事を目的に「まちづくりトーク」を町民センターで開催しました。第1回目は「原子力問題について考える」をテーマに、各地区連合町内会推薦者と一般公募による12人の参加者の皆さんが、町長の司会進行により活発な意見交換が行われました。

北海道地域防災計画の範囲見直しについて  
 防災計画の見直しは当然だと思いません。放射能の被害を受けると、蘭越の田んぼも小学校も保育所も汚染されるのが、福島で実証されたからです。  
 放射能の怖さがよく解からないので、理解するための広報も重要と考えます。

原子力発電所の安全対策について  
 一番安全なのは、原子力発電所を廃炉にすることです。廃炉にし、次のエネルギーを開発すべきと考えます。

事故が起きたのだから、新しい安全指針をきちんと決めることが必要と考えます。  
 北海道は冬に電気を使うので、今動いているものを止めるのは難しいのではないかと考えます。  
 安全対策は原発を廃炉にしても続けていかなければならないものと考えます。

今後のエネルギーはどうあるべきか  
 港町は風が強いので風力発電が良いと思います。

灯油ストーブを薪ストーブに変えたり、家庭菜園で野菜を作ったり、ライフスタイルを少し変えることで節電ができます。  
 などの意見が出されました。  
 最後に宮谷内町長が、「皆さんの意見をしっかりと受け止め、今後のまちづくりを進めていきたいと考えます。」とあいさつし、この会を閉じました。

## まちづくりトーク参加者

菊池	定夫さん
長澤	進さん
作田	正さん
岡村	裕之さん
池田	富次さん
下島	亘さん
桶矢	雅彦さん
土坂	俊昭さん
堀	正さん
井内	勇さん
松井	四十二さん
大表	章二さん